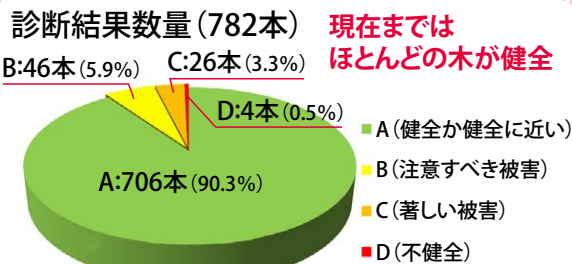
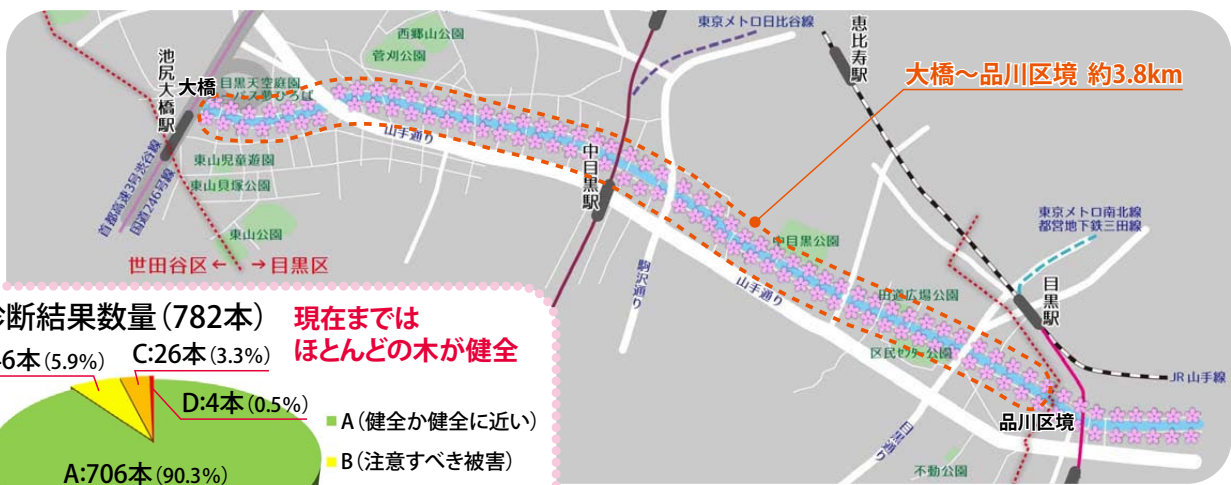


## 平成29年度 目黒のサクラ保全事業 目黒川のサクラ再生実行計画

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約2,300本の桜があります。目黒のサクラ保全事業は、区が管理する桜について樹木医による樹木診断を行い、倒木の危険のある桜を抽出し、桜の伐採とサクラ再生実行計画の策定、桜の植替え・保護を行うもので、平成27年度から実施しています。今年度は目黒川のサクラ並木について再生実行計画を策定するため、検討会を開催し、区民の皆様のご意見をお聞きしながらサクラ並木の将来像について決定しました。

### 目黒川のサクラ検討対象範囲とサクラの健全度



### 目黒川のサクラ再生実行計画 第3回検討会を行いました

平成29年11月9日(木)、第3回検討会を中目黒住区センターにおいて開催し、17名の方にご参加いただきました。サクラ並木の将来像、維持管理・保全策、桜守活動について検討しました。



#### 第3回検討会: 主なご意見

- これまで区が行ってきた維持管理に加えて、今後はサクラ保全事業も行われるが、サクラ並木を継承していくために十分な計画をたてて実施して欲しい。
- 桜を守るためには地域の協力が必要。住民の力を生かすようにして欲しい。
- イベント等で桜が傷つくことのないよう、根元に人が踏み込まないように、細心の注意を払ってほしい。



地域のシンボルとなっているソメイヨシノによるサクラ並木景観を将来にわたって引き継ぎます。現状のサクラを健全に育てていくとともに、将来、更新が必要となった場合は、周辺環境に合わせ、適切な植栽間隔を確保してソメイヨシノを中心とした植替えを行います。



## サクラ並木景観を維持するための課題と保全策



### … 課題 …

● 枝先の衰弱・樹勢衰退

**原因1** 空間が狭い、隣木との競合



● 枯枝

● 日陰を作る

● ぶつ切り

**原因2** 建物との競合

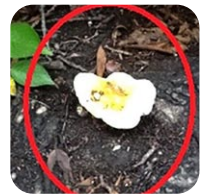


**原因3** 根元周りが裸地化  
踏み荒らされ

● 心材の腐朽  
● キノコの発生  
● 根元・幹の傷害



コフキタケ



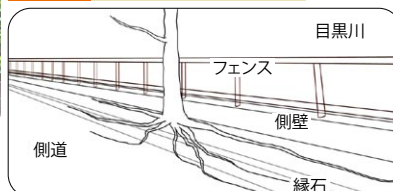
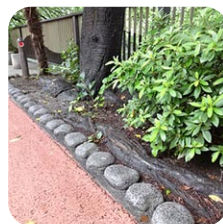
ベッコウタケ



樹皮欠損

● 根系の衰弱

**原因4** 根系範囲が狭い





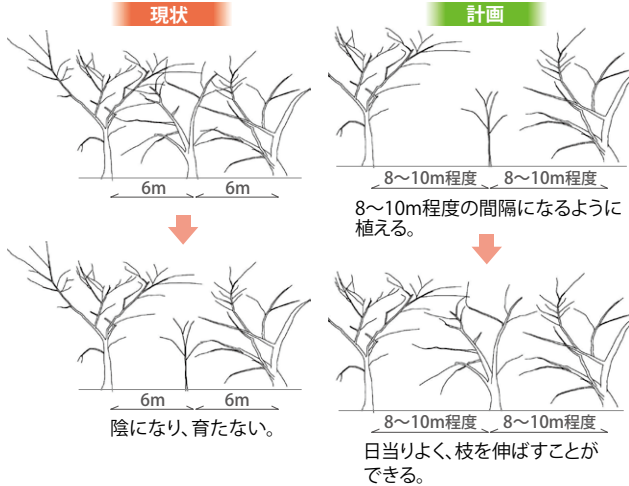
## …保全策…

問題点を改善するために4つの保全策を行っていきます。

### 保全策1 適切な植栽間隔を確保します

将来植替えを行う場合には、8～10m程度の植栽間隔を確保します。

#### 適切な植栽間隔の確保



現在は植栽間隔が約6mで桜が枝を伸ばせる空間が狭く、隣同士の枝が接しています。また、今後、樹勢の衰えなどにより倒木の危険のある桜を伐採した場合、同じ場所に補植をしても両側の桜の日陰になり成長できません。伐採をした場合にはすぐに同じ場所に補植をせず、植栽間隔が8～10m程度になるように調整していきます。

### 保全策2 定期的に剪定をします

枯枝、衰弱した枝、伸び過ぎた枝は剪定して樹形を整えます。

目黒川沿いでは地上の空間や地下の根系範囲が限られているため、上に大きく伸びた枝が弱ることがあります。また上の枝が元気過ぎても、下の枝は日当たりが悪くなり弱ります。環境に合わせて、樹形を整える剪定を行います。

### 保全策3 根元を保護します

桜の根元が裸地化した所は、根を保護するため植栽をして人が立ち入らないようにします。



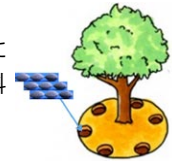
ヒイラギナンテン、オタフクナンテン、アガパンサス、ユキノシタ、リュウノヒゲ、ツワブキなど

### 保全策4 木を元気にします。根を増やします…施肥、土壌改良

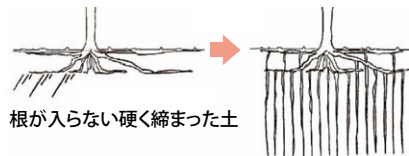
根の活力不足でやや弱っている木には、緩効性の固形肥料を施して活力を向上させます。それでも回復しない木には、根を張る範囲を増やすために、土壌改良を行います。

#### 施肥

木の根元から少し離れた場所に穴を掘り(10～15cm)、固形肥料を入れて埋めます。



#### 土壌改良



根が入らない硬く締まった土

圧縮した空気をノズルで送り込み、土を砕いて細長い縦穴をたくさんあけます。

細長い縦穴(深さ1m程度)には、根が伸びていき、雨水も流れ込み、樹木の成長が良くなります。



## 樹守活動

樹守活動とは、地域の方で地域の桜を守るボランティア活動のことで、全国各地で行われています。第3回検討会では、住民参加型のサクラ保全活動事例として、世田谷区の上北沢桜並木会議の活動を紹介しました。

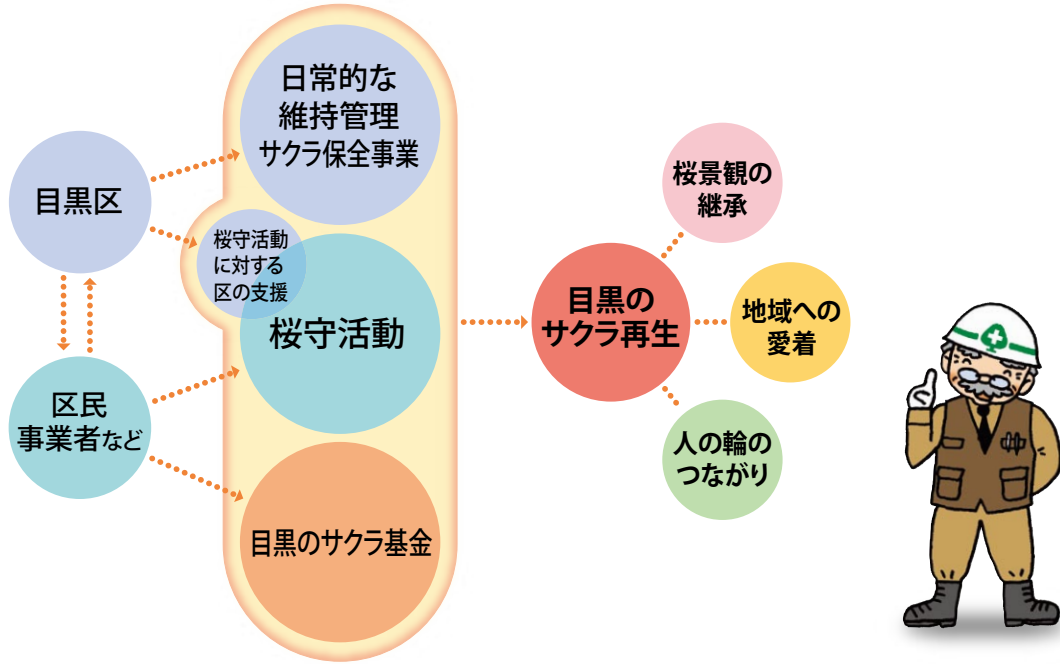
サクラ並木を保全していくためには区民の皆様の参加が大きな力になると考えています。目黒区でも、今後樹守を募集し、清掃活動や桜の継続的な観察、保全活動などを行っていきたいと考えています。目黒川のサクラを将来に伝えていくため、地域の皆様ぜひ樹守活動にご参加いただければと思います。



## サクラ再生実行計画の取り組み



サクラ再生実行計画に基づき、地域の皆様とともに、ふるさと目黒のサクラを後世に伝えていきます。



## ご協力ありがとうございました



今年度は目黒川のサクラ再生実行計画検討会を3回開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

### 〔検討会の内容〕

- 第1回 8月1日「樹木診断の結果の報告と今後の課題」
- 第2回 10月1日 現地見学会「サクラの現状と将来像について」
- 第3回 11月9日「サクラ再生方針と桜守活動について」



平成30年3月に、平成29年度目黒のサクラ保全事業報告会を開催する予定です。ぜひご参加ください。

ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝える  
**「目黒のサクラ基金」**に  
 ご協力をお願いいたします。

サクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。みどりと公園課までお問い合わせください。

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>

連絡先：目黒区みどりと公園課 電話：03-5722-9745  
 メール：midori04@city.meguro.tokyo.jp